

県立高校生学習活動 コンソーシアム連携ご提案

損害保険ジャパン株式会社

目次

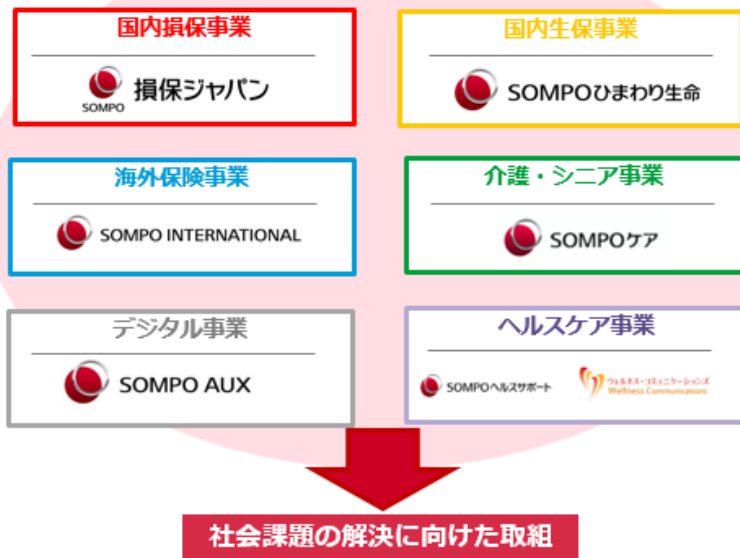
1. SOMPOグループのご紹介
2. 神奈川県との連携取組のご紹介
3. 提供プログラムのご紹介
 - ① 保険講座
 - ② ダイバーシティ教育（講演会）
 - ③ SDGs 教育

1. SOMPOグループのご紹介

- SOMPOグループでは、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを経営理念に掲げています。
- 「安心」「安全」「健康」を軸に、人や社会を守り、支えるため、中長期的な視点でさまざまな社会課題に向き合い、それらの解決に取り組むことで、持続可能な社会に貢献します。



事業間連携によるトータルサポート



	拠点数	部署名			
営業	20	横浜支店 ■営業第一課 ■営業第二課 ■営業第三課	横浜中央支店 ■横浜支社 ■横浜親支社 ■港南支社 ■川崎支社 ■港北支社		
		横浜ベイスайд支店 ■営業第一課 ■営業第二課			
		横浜自動車営業部 ■第一課 ■第二課	神奈川支店 ■厚木支社 ■町田支社 ■藤沢支社 ■平塚支社 ■小田原支社		
		神奈川自動車営業部 ■第一課 ■第二課 ■第三課			
		神奈川保険金サービス部 ■横浜自動車保険金サービス課 ■横浜ベイスайд保険金サービス課 ■神奈川車両損害調査課 ■神奈川火災新種保険金サービス第一課 ■神奈川火災新種保険金サービス第二課			
		■横浜保険金サービス課 ■横浜中央保険金サービス課 ■港北保険金サービス課 ■厚木保険金サービス課 ■町田保険金サービス課 ■湘南保険金サービス課			
		保険金サービス	11		



神奈川県「損害保険ジャパン」のネットワークは営業拠点・保険金サービス拠点とも業界トップクラスの充実したネットワークとなっており、約1,000名の社員がお客さま・代理店さまと身近な場所でサービスを提供しております。

2. 神奈川県との連携取組のご紹介

- 損保ジャパンは神奈川県や神奈川県警察との連携協定に基づき、地域の社会課題解決に向けた取り組みを行います。
- 人々が安心・安全に暮らし、よりよい生活ができる社会の実現に貢献していきます。

◆連携協定

自治体	協定	締結日
神奈川県警察	地域の安全・安心に関する包括連携協定(全国初)	平成30年6月28日
神奈川県	地域防災力向上に関する連携協定	平成30年8月30日
神奈川県	自転車等の交通安全の促進に関する連携協定	平成31年3月29日

◆SDGs

2022年3月開催の神奈川県が事務局を務める「ジャパンSDGsアクションフォーラム」に協賛しました。当日のフォーラムでは、当社役員が登壇し、講演を行いました。



今年こそ進もう。
「知っている」から、
「やっている」へ。

▼参考URL▼

<https://www.japan-sdgs-action-forum.jp/>

◆かながわSDGsパートナー

神奈川県ではSDGsを活用して事業を展開している企業・団体等の取組事例を募集・登録し、ホームページ等で発信するとともに、パートナーと連携してSDGsの普及啓発活動に取り組んでいます。

損保ジャパンは第6期かながわSDGsパートナーに登録され、さらなる連携強化を図り、SDGs達成に向けて取り組みます。



KANAGAWA SDGs PARTNER

3. 提供プログラムのご紹介

① 保険講座



- ▶ 世の中には様々なリスクがあり、個人の安定した社会生活や企業の事業継続、また新しいことにチャレンジする場合にもリスクマネジメントの考えは欠かせません。
- ▶ 損害保険会社には保険引受・支払いの過程でリスクマネジメントに対する知見が集積されており、その仕組みを理解することは公助・共助・自助の理解にも繋がります。

講演カリキュラムの概要(例)

1. 世の中にある様々なリスクについて

- ★個人のリスク
- ★企業のリスク



2. 保険の仕組みについて

助け合いの制度である保険の仕組み、保険事業の収益構造から保険料算出の考えかたまで解説

3. 社会に役立つ保険の紹介

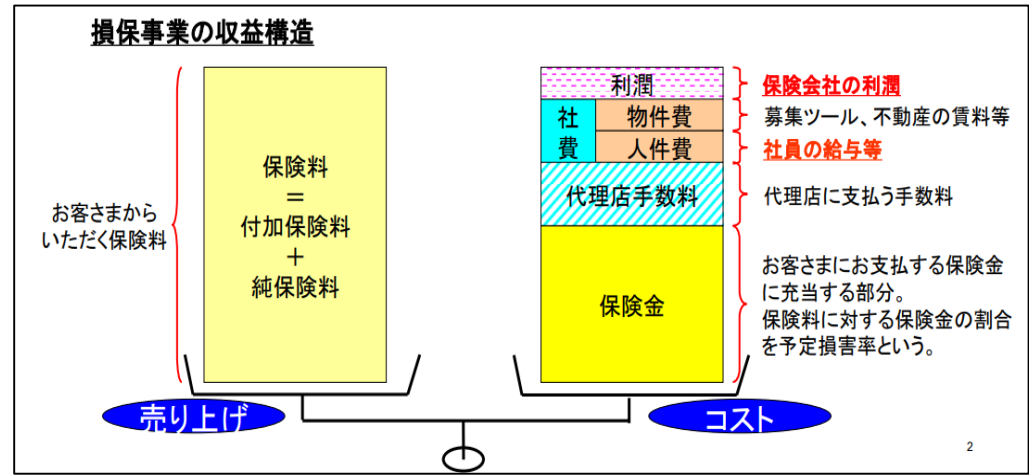
- ★身近な保険
- ★変わり種保険
(プロ野球での保険・ドローン保険など)

4. 様々なリスクマネジメント

防災や自転車事故防止など、保険活動とも連動したリスク軽減策を紹介

5. 成人年齢の引き下げによる契約手続き

20歳⇒18歳になった事により、契約の権利と不法行為による賠償義務が発生することなど



3. 提供プログラムのご紹介

②ダイバーシティ教育（講演会）



- ▶ 損保ジャパンは、多様な価値観を認め合い、尊重し、それぞれの特徴を生かして協働していく「ダイバーシティ & インクルージョン」の推進にも取り組んでおります。
- ▶ 多様性を享受できる社会の実現に向けて活動をしている社員が小中学校を中心とした学校現場で、ダイバーシティ教育推進のために講演会を開催しています。

ひと昔前より、人々が多様になってきたと感じませんか？ 子供たちの中にも、外国から来たお子さん、発達障害と診断されたお子さん、生まれつきの病気があるお子さん、医療的ケアが必要なお子さんなど多様になってきていると思います。

これからの社会を創る子どもたちに多様性、助け合いの大切さを知ってもらう機会をぜひご活用ください。

講演カリキュラムの概要

演題：「多様性と助け合いの社会を知ろう ～きみはきみのままでいいんだよ～」

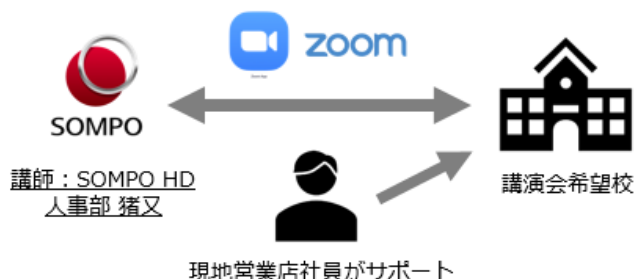
世の中にはいろいろな人がいる事、それぞれできる事、できない事が違うから助け合って、補い合って生きていることを学生たちに語り掛けます。

講師である猪又は生まれつきの心臓病患者で、自身の病の体験を交えながら啓発活動を行っており、教育現場、自治体、企業やNPO法人と、多くの講演実績を有しています。



SOMPO HD 人事部 猪又 竜

■学校（小・中・高など）で実践イメージ



【豊富な講演実績】（令和元年度～令和2年度）

- ・長野県教育委員会 人権教育講師派遣事業による実績
小学校10校、中学校8校、高等学校5校、養護学校3校
- ・東京大学バリアフリー支援室、法政大学社会学部、
東京情報大学看護学部、松本市、大田市、東御市、企業、NPO等

◇開催方法：Zoom等のWeb会議システムによるオンライン開催。
※開催準備等、現地の損保ジャパン社員がお手伝い致します。





3. 提供プログラムのご紹介

③SDGsワークショップ The Action! ～SDGsカードゲーム～

- ▶ 「The Action! ～SDGsカードゲーム～」は、SDGsの17目標を達成する為に、現在から2030年までの道のりを体験するゲームです。**SDGsの理解を深め、行動につなげるための当社オリジナルコンテンツ**であり、当社のSDGsに関する取組みもゲームを通じて体感していただくことも可能です。
- ▶ ワークショップを通じて、楽しくSDGsについて学び、子どもたちが自分ゴト化して考え、行動するきっかけの機会にご活用ください。

ワークショップの概要

カードゲームと講義、グループワークを組み合わせたワークショップ形式です。
2030年のわたしたちの地域がどうなっているのかをシミュレーションするゲームです。

参加人数：5～66名

※適正人数は9～48名。

所要時間：2時間30分～3時間程度（ゲーム+講義、グループワーク）

対象年齢：中学生～高校生向け

期待効果：SDGsとは？という基礎理解の促進

なぜSDGsが必要なのか？どんな可能性が生まれるのか
 カードゲームを通じて楽しく、体感的にSDGsを理解することができます。

費用：無料（認定ファシリテーターである当社社員が務めます。）



© JAPAN-DA



SOMPO

損保ジャパン

Innovation for Wellbeing